

クリスチャントゥデイ (<http://www.christiantoday.co.jp/>) の件について

1. クリスチャントゥデイ (<http://www.christiantoday.co.jp/>) の概要

社名 株式会社 クリスチャントゥデイ
英社名 Christian Today Co., Ltd.
所在地 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-13-6 ミツボシ第3ビル4階 (地図)
電話 03-5829-4627 FAX 03-5829-4628
代表取締役会長 峯野龍弘 代表取締役社長 矢田喬大

2. 日本基督教団・統一原理問題連絡会の取り組み

1) 「クリスチャントゥデイなど張在亨牧師グループに関する声明」発表

2018年1月27日付け(『教団新報』第4875号に掲載)

クリスチャントゥデイなど張在亨牧師グループに関する声明

日本基督教団は2008年6月、議長声明において、クリスチャントゥデイに対する疑惑が解消されるまで、クリスチャントゥデイと一切の関係を持たないことを宣言した。

2008年4月に、クリスチャントゥデイは、疑惑を指摘したキリスト教教職者を名誉毀損で提訴した。この民事訴訟の2013年11月判決において、この教職者の表現の一部に適切でない部分があったとされる一方で、クリスチャントゥデイを含む多数の関連団体・教会が張在亨牧師の影響下にある一体的なものであったことが明らかにされた。

そして今年、かつて同グループ内において、張在亨牧師は来臨のキリストであるとの信仰に誘導する聖書講義が行われていた事実や、団体・教会の活動を維持するため、メンバーが消費者金融から借り入れをするように仕向けられたり、人事指示を受けて過酷な集団生活や無償労働をさせられていた事実などについて、複数の脱会者から証言を得た。

このような事実があるにもかかわらず、現在のクリスチャントゥデイには、多数のキリスト教教職者等が取材を受けるなど関係しており、キリスト教界に多大な影響を及ぼしていることを、深刻に憂慮せざるを得ない。

ゆえに日本基督教団は、クリスチャントゥデイなど張在亨牧師関係グループに対して、キリスト教として同一の線に立つことは出来ないとの判断を再確認する。

2018年1月27日 日本基督教団総会議長 石橋秀雄

2) 日本基督教団・統一原理問題連絡会の「『クリスチャントゥデイなど張在亨牧師グループ』に関する説明会」開催

一日時 2018年2月23日(金) 一場所 日本基督教団A・B会議室

一内容 (1) 脱会者Aさんの証言 (2) クリスチャントゥデイ雑賀元編集長と中橋氏の証言

二人の証言は、上記の声明文を裏付ける内容。

3. 根田祥一氏（クリスチャン新聞編集顧問）講演要点

（講演：日本基督教団統一原理問題全国連絡会（2016年9月1～2日））

I. クリスチャントゥデイ問題とは？

「統一教会（世界基督教統一神霊協会）核心メンバーであった張在亨^{ジャンジェヒョン}氏（学舎長、巡回伝道団団長、ICSA 事務局長、鮮文大学教授）が、自分自身を『来臨のキリスト』として若者たちに教え込み、張氏が設立した関連団体（ACM、イエス青年会、EAPC 等）と関連企業（クリスチャントゥデイ、クリスチャンポスト、ジュビリーミッション等）に献身させて、無賃労働をさせている上、そうした実態を糊塗しつつ、世界福音同盟（WEA）への浸透を企て、成功を収めつつある、という疑惑。」

*報道メディアを中核にキリスト教界全体を欺く形態の異端・カルト。

II. 山谷裁判（山谷ブログの名誉毀損・損害賠償請求事件＝東京地裁判決確定）判決文でわかること

正統的キリスト教とは異なる異端性や、自分たちが否定してきた関係諸団体が張在亨によって設立された国際的な連携をもつ組織であると事実認定されている。

III. CT は異端・カルトであると断言できる根拠は？

- ① 韓国、中国、日本、北米での脱会者証言が一致している。→内部にいるとき、張在亨 (David Jang) 氏を「来臨のキリスト」と信じ（させられ）ていた。
- ② 元 CT 編集長のノートに『原理講論』様の教理。「来臨のキリストはダビデ」
- ③ 張在亨氏の統一教会前歴疑惑に対して、本人の潔白を証明する釈明がない。
- ④ 統一教会の内部資料によると、張在亨氏が 1970 年代から 1996 年まで統一教会の幹部だったことは明らか。だが、正統信仰に目覚めて脱会したと証明する説明がない。
- ⑤ 香港、北米の超教派委員会、韓国の主要教団が、CT が異端である可能性の高さを示している。
- ⑥ 自分たちの正体を隠し、秘密主義であり、たびたび嘘をついてきた。